

1. 略歴

- 1989年4月 東京大学教養学部文科Ⅲ類入学
- 1991年4月 東京大学文学部国史学専修課程進学
- 1993年3月 東京大学文学部国史学専修課程卒業
- 1993年4月 東京大学大学院人文科学研究科国史学専攻修士課程進学
- 1995年3月 東京大学大学院人文科学研究科日本史学専攻修士課程修了
- 1995年4月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻（日本史学）博士課程進学
- 1997年7月 同 博士課程（日本史学）中退
- 1997年8月 東京大学史料編纂所助手
- 2007年4月 東京大学史料編纂所助教
- 2009年1月 博士（文学）学位取得（東京大学）
- 2012年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

日本中世史

b 研究課題

中世武家政権の研究、14世紀政治社会史の研究

c 概要と自己評価

もっぱらモンゴル襲来を中心に鎌倉時代後半の外交・政治史研究に取り組んだ。また別に北条時頼政権について検討する機会を得たことにより、13世紀半ばから一貫する朝幕関係を見通す視座を得ることができた。今後は14世紀へと視野を拡大し、室町幕府成立期・南北朝期の政治史研究に進んでいきたいと考えている。また共同研究の一環として『平家物語』に取り組み、歴史学の立場から文学作品にアプローチする方法を模索した。さらに古記録から古文書の作成や授受を読み解くことで、古文書学の新たな一面を開拓することを試みた。

d 主要業績

(1) 論文

高橋典幸、「悪党のゆくえ」、中島圭一編『十四世紀の歴史学』（高志書院）、11-30頁、2016.6

(2) 書評

高橋昌明、『平家と六波羅幕府』、東京大学出版会、『史学雑誌』、125編4号、50-59頁、2016.4

上杉和彦、『鎌倉幕府統治構造の研究』、校倉書房、『歴史学研究』、968、52-55頁、2018.3

(3) 解説

高橋典幸、『熊野御幸記』（藤原定家） 霊地熊野をめざす貴族たち」、松菌斎・近藤好和編『中世日記の世界』（ミネルヴァ書房）、319-329頁、2017.4

高橋典幸、「生駒報告を聞いて 2016年度日本史研究会大会中世史部会報告批判」、『日本史研究』、656号、49-52頁、2017.4

高橋典幸、「日本史における中世」、出口雄一・神野潔・十川陽一・山本英貴（編）『概説日本法制史』（弘文堂）、219-223頁、2018.3

(4) 学会発表

国内、高橋典幸、「御家人の西遷について」、国立歴史民俗博物館基幹研究「中世日本の地域社会における武家領支配の研究」第4回共同研究会、桜城館（佐賀県小城市）、2017.9.6

国内、高橋典幸、「奥州合戦にみる戦い」、武蔵野大学文学研究科博士課程開設記念シンポジウム「武士と合戦」、武蔵野大学（東京都西東京市）、2017.11.16

(5) 啓蒙

高橋典幸、「元弘・建武の乱と相模」、関幸彦（編）『相模武士団』（吉川弘文館）、70-87頁、2017.8

高橋典幸、「足利尊氏らしい文書」、『多分野交流プロジェクト研究ニューズレター』、78、2018.3

(6) 監修

高橋典幸、『学習まんが 日本の歴史5』、集英社、2016.10

高橋典幸、『学習まんが 日本の歴史6』、集英社、2016.10

高橋典幸、『学習まんが 日本の歴史7』、集英社、2016.10

高橋典幸、『学習まんが 日本の歴史8』、集英社、2016.10

(7) 会議主催(チェア他)

国内、「第114回史学会大会・日本中世史部会」、実行委員、日本史部会(中世史部会)司会、東京大学、2016.11.12

国内、「第115回史学会大会・日本中世史部会」、実行委員、日本史部会(中世史部会)司会、東京大学、2017.11.13

(8) 教科書

『詳説日本史』、高橋典幸、その他、山川出版社、2016

(9) 共同研究(産学連携除く)

国内、参画、国立歴史民俗博物館、基幹研究「中世日本の地域社会における武家領主支配の研究」、2016～

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、東洋大学(文学部)、「日本史学演習」、2016.4～2018.3

非常勤講師、慶應義塾大学(文学部)、「日本史特殊講義演習」、2016.4～2018.3

その他、第20回常呂公開講座、「古文書の様式と身体」、2016.10

その他、朝日カルチャーセンター新宿、「学びなおす日本史 中世編」、2016.10～2017.1

その他、神奈川県立鎌倉高校、「源頼朝と鎌倉」、2017.6

その他、国土館大学日本史講演会、「中世人のサイン、花押」、2017.6

その他、平成29年度東京都歴史教育研究会秋季講演会、「日本中世史の新しい捉え方 鎌倉幕府と朝廷の関係を見直す」、2017.11

(2) 学会

国内、史学会、編集委員、2016.6～2018.5

国内、日本歴史学会、評議員、2016.7～

国内、日本古文書学会、理事、評議員、2016.9～